



公益財団法人豊田市文化振興財団

第7期 令和7年度 第2回青少年育成委員会

日時 令和7年10月11日（土）午前10時から

会場 豊田市青少年センター 会議室A

次 第

1 主催者あいさつ

2 議題

(1) 青少年育成委員会 前回の会議録について

(2) 令和8年度事業計画（案）について

(3) 令和7年度モニタリング事業評価（前期分）について

(4) 令和7年度モニタリング事業（後期分）について

3 その他

(1) 令和7年度第3回青少年育成委員会の日程について

候補日／令和8年2月

7日（土）、8日（日）、14日（土）15日（日）、21日（土）、22日（日）

時間／午前10時／午後2時

会場／青少年センター

内容／モニタリング事業評価・令和8年度事業計画（案）など

(2) 施設からの諸連絡

【目次】

議題（１）青少年育成委員会 前回の会議録について……………別冊

議題（２）令和８年度事業計画（案）について……………別冊

議題（３）令和７年度モニタリング事業評価（前期分）について……別冊

議題（４）令和７年度モニタリング事業（後期分）について……………別冊

【着座表】（敬称略）

司 会 総合野外センター 山村聡志		委員長 大村 恵		副委員長 斉藤茂美
青少年部 永坂正和	委 員 宇井一弘			委 員 野畑清敬
青少年 C 所 長 近藤雅子	委 員 白川陽一			委 員 稗田 猛
副所長 松浦友洋	委 員 西本昌司			
総合野外 C 所 長 山中浩之				
		オブザーバー 専務理事 副理事長 　こども・若者政策課長 学び体験推進課長 藤本 聡 杉山基明 近藤啓史 藤田憲彦		
		産業文化 C 所 長 荘田元宣 副所長 中根史義 係 長 水野路子		

令和８年度事業計画（案）について

令和8年度 事業計画説明資料

開始 年度	公益目 的事業 区分 自主 共催 委託	予算 区分	事業名	目的	期日	対象	会場	人数 (単位:人)	内容	
共催事業										
H28	公2	共催	若者応援ネット 『プラス』	情報発信	通年	青少年			若者に向けて、LINE・SNSを活用し、イベント情報、ボランティア情報、婚活情報など青少年に有益な情報の配信を実施する。	
R4	公2	共催	若者応援事業	婚活	自立支援	通年	青少年・学生	青少年 センター他	30×2回	婚活やキャリア教育等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。 【新規事業】 二十歳のつどい…二十歳の集いに関わる若者を取り込みながら事業を実施する 例) メタバース二十歳の集いなど サロン(つながり)…若者が気軽に集まり、交流や情報交換を通じてつながりを深める活動を支援する。
				20						
				20歳のつどい						
				100						
R4	公2	共催	種まき事業	居場所づくり	5月～3月	学生・社会人	青少年 センター他	20	仲間づくり・婚活・まちづくり等若者に関する様々な講座・イベントを開催し、若者の関心を引き出す。	
R4	公2	共催	活動支援事業	活動応援 大型イベント	居場所づくり	通年	市民全般	青少年 センター他	2,000	青少年センターサロン等で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場、まちづくりイベント等を支援する。
S56	公2	共催	高校生 ボランティアスクール	社会参加	5月～3月	高校生	こども園 福祉施設 他	90	西三北地区公立高校及び市内私立高校と連携し、高校生がボランティア活動を行う機会を創出する。主に保育活動、福祉活動、図書館活動、公共イベント等に参加する。	
H18	公2	共催	レクリエーション 団体指導者派遣	社会参加	通年	市内の 子ども会等	市内	110団体	レクリエーション指導者が子ども会等の活動を直接指導することで団体活動の活性化を支援する。 青少年サークルをふれあいまつり等地域行事に派遣し、地域活動に若者の力を導入する。	
H29	公2	共催	サークル・グループ文化祭	社会参加	1月	登録サークル・ グループ 青少年育成団体 近隣大学学生 近隣高等学校	産業文化 センター	500	青少年団体メンバーで組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へPRし、新規団体、新メンバーの獲得につなげる機会とする。対象は青少年センターの利用者だけでなく近隣大学・高校に呼びかけをする。	
R4	公2	共催	社会参加バンク	社会参加	通年	青少年	青少年 センター他 1/3	1,000	社会参加を希望する若者と若い力を求める団体等のマッチングを行う。	

開始年度	公益目的事業区分	予算区分	自主共催受託	事業名		目的	期日	対象	会場	人数 (単位:人)	内容
				学生交流塾	学生交流 とよた学生盛り上げ隊						
H28	公2	共催		学生交流塾	学生交流 とよた学生盛り上げ隊	社会参加	通年	学 生	青少年センター他	30	学校や学年の垣根を越えて集い、学生らしい柔軟な発想と軽快なフットワークとチームワークで「まちづくり」「ボランティア」「企業コラボ」など“WE LOVE とよた”の実現に向けた活動を展開する。
H28	公2	共催		学生によるまちづくり提案事業		社会参加	7月～2月	学 生	青少年センター他	最大8組	学生を対象に対して、まちづくりに関する考えや手法を学び、企画から実現までを一貫して行う講座を実施する。
R4	公2	共催		若者倶楽部		社会参加	通年	学生・社会人	青少年センター他	30	各地区で開催される新成人を祝う会実行委員や種まき事業に参加した若者を勧誘した若者をまちづくり等社会参加型事業の担い手としての活躍する若者の集合体を形成する。
R4	公2	共催		若者によるまちづくり提案事業「WAKATTE」		社会参加	5月～2月	青少年	青少年センター他	1～3組	豊田市を活性化させる事業や豊田市の魅力を発信する事業の提案を若者に募集し、実現のサポートをする事業を開催する。

開始 年度	公益目 的区分	予算 区分	事業 区分	事業 名	目的	期日	対象	会場	人数 (単位:人)	内容
自主事業										
S63	公2	自主		豊田市青少年団体傷害互助会	その他	通年	青少年団体		30,000	豊田市の青少年団体の活動を支援するための互助会組織。団体活動中の不慮の事故に際し見舞金を支給する。また、活動中に第三者の器物を破損した場合にはその損害を賠償する。
H17	公2	自主		豊田市文化振興財団大会 (青少年表彰)	その他		青少年及び 育成者	文化会館		財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰する。
H30	公2	自主		若者・外国人 応援未来塾事業 (自主)	自立支援	3月	15歳以上の 青少年	青少年 センター	30	高卒認定試験合格を目指して愛知県の実施する学習支援事業「若者外国人未来応援事業」を補充して開催。 ※学び直し、学習の遅れを補う場として就学中の生徒の支援を併せて行う。
H25	公2	自主		インターンシップ事業	社会参加	8月 2月	高校生 学 生	青少年 センター	30	豊田市及び近隣の高校・大学と連携し、青少年教育施設における仕事体験として学生の社会教育活動を行い、キャリア形成を支援する。
受託事業 1										
H15	公2	受託		子ども会事務支援	その他	通年	市子ども会育成連絡 協議会		300団体	豊田市子ども会育成連絡協議会の事務局として協議会の運営を支援し、子ども会活動の活性化を推進する。(令和5年度加盟子ども会は302)
H16	公2	受託		学習・卓球開放事業	居場所づくり	通年	青少年	青少年 センター	40,000	自主学習や音楽・ダンス・演劇等の自主練習会場として空室を活用する。定期的に実施する卓球器具貸し出しなど青少年の居場所づくりを実施する。
受託事業 2 (指定管理以外)										
H29	公2	受託		若者・外国人 応援未来塾事業 (県受託)	自立支援	4月～2月	15歳以上の 青少年	青少年 センター	330	高卒認定試験合格を目指す若者の学習支援及び外国人への学習のための日本語教育を実施する(愛知県教育委員会委託事業) ※学び直し、学習の遅れを補う場として就学中の生徒の支援を併せて行う。

青少年…小学生以上39歳以下

青少年団体…青少年がメンバーの中心となって継続的に活動する団体

令和 8 年度事業計画について

総合野外センターでは、令和 6 年 4 月 1 日付の条例改正に伴い、青少年の定義を「0 歳～29 歳」と拡大し、幅広い年齢層を対象とした事業展開を進めている。令和 8 年度は改正から 2 年目となり、令和 7 年度の事業実施を踏まえ、課題や改善点を抽出し、令和 9 年度に向けた事業構成の再編に取り組む。

また、令和 7 年度に開始した年齢層別および野外活動の成熟度に応じた事業体系と、未就学児および高校生を対象とした新規事業の継続的な運用に向けて、参加状況、満足度、教育効果等の観点から検証を進める。

- ①学童期の利用に関しては、小学校卒業後に当センターの利用が減少する傾向にある。そのため、中高生になっても継続的な参加を促すための事業設計が求められる。令和 8 年度は、令和 7 年度に実施した複数の中高生向け事業を統合し、参加のしやすさと誘いやすさに重点を置いたプログラムに改編する。
- ②大学生を対象としたキャンプスタッフトレーニングキャンプは、内容の見直しと実施回数の調整を行い、より柔軟かつ参加しやすい形で実施する。
- ③未就学児向け事業は、令和 7 年度より開始したプログラムを継続実施する。これにより、幼少期から当センターとの関係性を構築し、将来的な継続利用に繋げる素地づくりを図るとともに、センターの有意性を築く。
- ④家族や青年グループによる施設利用の増加に対応するため、随時開催型の自然体験プログラム「自然・あそび・発見“ちびラボ”」の企画実施を継続する。

令和 8 年度は、これらの施策を通じて、年齢層や活動特性に応じた体系的な事業構築と、より多くの市民の生活に寄り添う野外活動の提供を目指す。

【総合野外センター業務体系】

気軽に六所の自然に親しむことができるよう、安全で使いやすい施設を整備し、安心と達成感そして幸福感のある施設利用を提供する。

施設管理	受託事業 市から委託を受けて実施する事業（利用受入）			共催事業 市との共催事業	自主事業 当財団の事業
	こども園・小中学校	青少年健全育成団体	家族・青少年グループ	※別紙参照	※別紙参照
マイナス要因への適切な対処の提案と環境整備により、安全で快適な施設利用を担保する ・野外活動の危険要素 ・温暖化による熱中症や自然災害 ・設備の老朽化	こども園(年長)の日帰り遠足、小学校(5年生)の宿泊合宿 ※中学校 1 年生の宿泊合宿が廃止、小学校は 2 泊から 1 泊に。	子ども会・ボーイスカウト・放課後児童クラブなど、子どもの居場所作りや活動を継続的に行っている団体 ※少子化、子ども会減少	青少年(0 才～29 才)のいるグループ ※令和 6 年 4 月 1 日付の条例改正による新たな利用形態		
過去の事業プログラムや新規開発プログラムをメニュー化し、フレキシブルに稼働させる。					

【共催事業・自主事業】

親子「共視」	低	野外活動体験の成熟度	高
--------	---	------------	---

事業目的		家族交流支援事業		青少年自然体験交流事業				指導者育成事業・社会参加						
青少年育成施策		自然体感	自然探求	環境や仲間との出会い	自主性・協調性	忍耐力・自己肯定感	主体性・愛着(信頼感)	野外センター キャンプスタッフ養成		社会参加				
青年期 自立や公共への参画	社会人						六所山 キャンプ クラブ				インストラクター 養成 講習会			
	大学生							トレーニング キャンプ	プロ グラム 研修会	自主 大学連携 事業				
思春期 社会規範や知識・能力を習得	高校生										高校生 ボラン ティア			
	中学生		親子 自然 体験塾		六所で キャンプ	チャレンジ キャンプ	山の子 学級 ※1~3月 通し参加							
学童期 社会性の獲得	5~6 年生													
	4年生			六所で あそぼう										
1~3 年生														
乳幼児期 認知や情緒の発達	未就 学児	森の音楽会 森と絵本												

※上図に表記のない自主事業は、「多様な子どもの居場所づくり」を企画する団体の活動支援として随時開催。

令和8年度 事業計画説明資料
【 共催事業 】

施設名等： 野外センター

年度 区分	事業区分	事業名	目的	期日	対象	会場	人数	内容	収益区分 (単位：千円)										
									予算額	豊田市の収益 (愛知県も含む)		自己財源							
										特定管理 等収益	事業受託 収益	受取 利息金	テナント共 益金等	基本財産 運用益	特定資産 運用益	受取 会費	受取貯蓄 金等	その他 (販売費 戻金調整 等収益が 積立資産 からの振替 取崩額 等)	
H28	公2	共催	六所であそぼろう	少年自然体験交流事業	4月日曜 7月日曜 10月日曜 2月日曜	小1～4	キャンプ場	各44人	自然体験活動や社会教育士資格の取得を目指す大学生の実習(県内の大学と共催事業)をサポートする。また実習で大学生が企画したイベントを、大学生と野外センターで共同開催する。 ※実習費等は参加者が実習負担	293		81	212						
R2	公2	共催	六所でキャンプ	少年自然体験交流事業	5月(1泊) 9月(1泊) 12月(1泊)	小4～中3	自然の家 キャンプ場	各36人	青少年健全育成を目的に、野外センターの自然や里山環境を活かした体験活動型の講座、研修会をサポートする。	514		136	378						
R3	公2	共催	チャレンジキャンプ	少年自然体験交流事業	8月 (3泊)	小4～中3	自然の家 キャンプ場	36人	小学校中学年から中学生に向けた、ステップアップ事業。 長期キャンプにより、仲間や困難とじっくり向き合う経験を創出。 達成感や達成感を味わうことにより、忍耐力と自己肯定感を育む。 小学校中学年から中学生に向けた、ステップアップ事業。	396		108	288						
R7	公3	共催	山の字学級	少年自然体験交流事業	1月～3月 (1泊×3回)	小4～中3	自然の家	36人	仲間との継続的な活動、長期的なスパンを活かした計画により、自ら考える時間を創出。仲間や自然への愛着、キャンプスタッフとの関係性の変化、野外活動の企画や運営などへの興味を芽生えを育む。	460		100	360						
R2	公2	共催	六所山キャンプクラブ	青少年自然体験交流事業	8月日曜 12月日曜 3月日曜	中学生 高校生 大学生	キャンプ場	各10人	中学生から大学生を対象にした世代連携型育成事業。キャンプを通じて主体性・協働性を育む。また、現役のキャンプスタッフとの交流・情報交換の場とし、指導者養成の入門場として実施。	137		55	82						
R7	公2	共催	高校生ボランティア	社会参加	随時	高校生	キャンプ場	各10名	※青少年センターとの連携事業(高校生の社会参加を促す。) こどもが好む関連イベントに興味があったり、キャンプ場の仕事を体験してみたいなどの好奇心に伝える。	0									
H27	公2	共催	キャンプスタッフトレーニングキャンプ	青年指導者育成事業	5月日曜 7月(1泊) 10月日曜	大学生	自然の家 キャンプ場	40名	キャンプスタッフに必要な知識や技能を習得するとともに、野外活動に対する意欲の向上を図る。また、キャンプスタッフ間の連携を深める。	206		50	156						
R2	公2	共催	キャンプスタッフプログラム研修会	青年指導者育成事業	日曜2回	大学生	キャンプ場	各8名	共催事業をサポートする大学生が対象。安全面を重視したプログラム検証および進行について、事前研修を行う。	56		40	16						
H15	公2	共催	キャンプインストラクター養成講習会	青年指導者育成事業	2月(2泊)	大学生 一般	自然の家	30名	キャンプ協会との連携を行い、青少年指導者の育成を図る。 希望者には、キャンプインストラクターへの資格試験を実施する。	300		90	210						
R2	公2	共催	親子自然体験塾	家族交流支援事業	7月(1泊) 12月(1泊)	小中学生を含む家族	自然の家	各9家族	自然体験を深めたい家族を対象とする事業。 「自然」や「里山」をテーマにしたアクティビティを提供。感動や喜びを共有し、家族の絆を深める。自然のなかでの過ごし方や魅力に触れる原体験が野外活動の根拠性となり、施設利用の世代継承や循環につながることもねらう。	222		60	162						
R7	公2	共催	森の音楽会・森と絵本	家族交流支援事業	10月日曜 11月日曜	幼児を含む家族	キャンプ場	各15家族	自然体験への導入事業。 「自然」をテーマにした音楽や絵本の読み聞かせと会場となる環境(野外)の相乗効果により、五感を刺激。感性を育む。	125		110	15						
H29	公2	共催	野外活動体験塾	支援事業	年3回	青少年	キャンプ場	各10名	不登校やひきこもり、障がいのある青少年の支援団体や保護者グループの野外活動を支援する。	0									
H28	公2	共催	アウトリーチ講座 応用アウトドア	連携事業	4月日曜 10月日曜 2月日曜	小中学生 および家族 対象の講座	関連施設	3団体	他施設を会場に、当センターのプログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会の実施。ならびに他施設主催講座の実施及び企画協力に備具を講師として派遣する。										
合 計									2,709		830	1,879							

※新規事業は、開始年度に「新規」と記入すること

年度 区分	事業区分	事業名	期日	対象	会場	人数	廃止理由		
R6	公2	共催	Enjoy! アウトドア	青少年自然体験交流事業	12月	①中1～3 ②高1～3	キャンプ場	中・高 各10人	六所山キャンプクラブと内容を統合した。

令和8年度 事業計画説明資料
【自主事業】

施設名等： 野外センター

開始年度	公目的事業区分	事業区分	事業名	目的	期日	対象	会場	人数	内容	収益区分 (単位：千円)											
										予算額				事業収益				自己財源			
										豊田市の収入 (愛知県も含む)	指定管理 等収益	事業受託 収益	受取 負担金	基本財産 運用益	特定資産 運用益	受取 会費	受取保険 金等	その他 (販売事 業収益か らの振替 額等)	財務諸表 精立資産 の取崩額		
R2	公2	自主	大学連携事業	支援事業	6月～3月	大学生	キャンプ場	各10名	自然体験活動や社会教育上資格の取得を目指す大学生の美言(県内の大学と共同事業)をサポートする。また実習で大学生が企画したイベントを、大学生と野外センターで共同開催する。 ※実習費等は参加者が実費負担	71				36					35		
R3	公2	自主	体験学習講座 支援事業	育成事業	年3回	一般	自然の家 キャンプ場	各15名	青少年健全育成を目的に、野外センターの自然や里山環境を活かした体験活動型の講座、研修会をサポートする。	0											
合 計										71				36					35		

※新規事業は、開始年度に「新規」と記入すること

開始年度	公目的事業区分	事業区分	事業名	廃止理由						
R7	公2	自主	アドベンチャー in六所	青年自然体験事業	11月	高校生を含む 親子	キャンプ場	10組	中日文化センターと共催の単発事業だったため	

令和8年度 事業計画（案）（科学体験館）

施設名等：産業文化センター・科学体験館

開始 年度	公益目 的事業 区分	予算 区分	事業名	目的	期日	対象	会場	人数	内容
公1 ～3		自主 共催 受託							
R7	公2	自主	社会包摂推進事業 コモンズ プロジェクト	すべての市民に開かれ、集い・共有できる空間（コモンズ）を目指し、誰も排除しない取組を推進することで、共生社会や合理的配慮実現の機運を高め、市民に良い環境や経験を提供し、施設の理解者や協力者、将来の顧客を育成すると共に、お互いが尊重されウェルビーイングな状態の市民を増やし、住みよいまちづくりに貢献する。	通年	-	-	-	産業文化センター、喜楽亭、科学体験館すべての業務を対象とし、館内の掲示物や配布物、事業チラシなどの優しい日本語化や多言語化、障がい者の事業参加への配慮、どなたでも気軽に来館できる機会の提供を推進し、その成果を市民へ情報発信する。必要経費は主にミニワークショップの収益を運用し、不足分を自己財源から補填する。
R5	公2	自主	ミニワークショップ用イラスト制作	ミニワークショップのワークキットに使用するイラスト等を市内アーティストに制作依頼し、著作権の適用されない素材を使用する。	-	-	-	-	イラスト素材（1枚あたり3,000円～6,000円（税別））を年間60枚程度制作依頼する。必要経費は主にミニワークショップの収益を運用し、不足分を自己財源から補填する。
R4	公2	自主	事業共通	ミニワークショップのワークキット等を作成する。	-	-	-	-	クラフト用紙等の厚紙に印刷できるプリンターをリースする。（5年リース）
R2	公2	自主	こども園アウトリーチ事業	こども園に出向き、園児の前で科学のふしぎをショー形式で紹介する。実体験を通して楽しみながら科学への興味を深める。	通年	園児	こども園	750人	こども園への出前サイエンスショーと、実際に実験道具などに触れる機会を提供する。（15園×50人）
H24	公2	自主	ミニワークショップ	気軽にできる科学工作を通して、ものづくりや科学の楽しさを知ってもらう。	通年	こども一般	スペースホール他	18,000人	短時間でできる簡単な科学的な工作ワークショップを実施する。
H25	公2	自主	ものづくりフェスタ 2026	科学体験館の科学工作、その原理を紹介することで、利用促進につなげる。	1回/年	こども一般	スカイホール	120人	ものづくり実行委員会主催のイベントに実行委員を派遣・出展協力する。
R5	公2	自主	自然科学体験教室【廃止】	3年間で一定の効果を得たが、2日間の野外活動は人員確保の面から現時点では困難である。また自然科学分野の事業が充実してきたことから、一旦、中止とし、他事業に注力する。					

令和8年度 事業計画（案） （科学体験館）

施設名等：科学体験館

開始年度	公益目的事業区分	予算区分	事業名	目的	期日	対象	会場	人数	内容
H2	公2	受託	アストロクラブ【初級コース】	学校や家庭ではなかなか体験できない天文に興味を持つきっかけを提供する。	5回/年	小学生	プラネタリウム	250人	子どもたちを対象にした天文教室。天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学ぶ。 (50人×5回) (参加費400円)
H2	公2	受託	アストロクラブ【中級コース】	天文の知識を深め、サイエンスリテラシー（科学活用力）の向上を図る。	5回/年	小中学生	会議室	100人	子どもたちを対象にした天文教室。望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ。 (20人×5回) (参加費3,600円)
S62	公2	受託	親子天文教室	「科学を文化として楽しもうPJ」の一環として、親子で天文の話題に触れ、科学に対する裾野を広げることを推進する。	1回/年	親子	プラネタリウム	100人	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。 (参加費500円)
H23	公2	受託	プラネタリウムコンサート	「科学を文化として楽しもうPJ」の一環として、星空や宇宙の映像と音楽が融合する癒しの文化体験を提供する。	1回/年 (2回公演)	一般	プラネタリウム	240人	プラネタリウムの星空や宇宙の映像演出の下で演奏するプロ演奏家のコンサートを開催する。 (120人×2公演) (参加費1,000円)
H26	公2	受託	いろいろプラスネタリウム	「科学を文化として楽しもうPJ」の一環として、通常のプラネタリウムとは一味違う「人やテーマ」に注目・特集した新たな魅力発信により注目度を高め、新規顧客開拓に繋げる。	3回/年	一般	プラネタリウム	360人	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別放映を開催する。 (120人×3回) (参加費500円)
H24	公2	受託	街中の星見会「まちぼし」	街中での気軽な天体観望会を開催し、星空を身近に体感する機会を提供する。	通年 適時開催	一般	屋外	700人	月や惑星などの星空の状況に応じて天体望遠鏡による観望会を開催する。 (70人×10回) (参加費無料)
H11	公2	受託	出前天体観測会	天文に触れる機会が少ない方に興味関心を持っていただくためのアウトリーチ活動を実施する。	通年 適時開催	一般	市内小中学校 交流館	700人	学校・交流館等に望遠鏡を持って出向き、天文のお話や天体観測会を実施する。 (70人×10回) (参加費無料)
H21	公2	受託	プラネタリウム放映事業	一般放映では多様な番組放映を通じ、天文・宇宙に対する興味関心を深める機会を提供する。また学習放映として市内小学4年生児童に、教育指導要領に沿った天文学習の機会を提供する。	通年	子ども 一般	プラネタリウム	30,000人	とよた科学体験館の一般向け・子ども向け番組、学習番組の放映、関連イベント開催による利用促進を行う。 (各回定員150人)

令和8年度 事業計画（案） （科学体験館）

施設名等：科学体験館

開始 年度	公益目 的事業 区分	予算 区分	事業名	目的	期日	対 象	会 場	人 数	内 容
		自主 共催 受託							
R7	公2	受託	科学ふらっとときかく展	天文、サイエンス等に関する様々な資料を展示したり体験することにより、気軽に科学に触れる機会を増やし関心を高める。	4回/年	こども 一般	体験館	-	天文・サイエンス・ものづくりに関連したパネル展示や体験展示を開催する。
R6	公2	受託	発見科学コーナー	体験学習による発見する楽しみを通して、科学への興味関心の向上を図る。	2回/年	一般	パフォーマンス ステージ	-	常設展示より質の高い体験学習を開催する。科学館ならではの物や科学館職員による専門的な解説で当館の魅力を発信する。
R6	公2	受託	みんなで！サイエンス ショー	サイエンスショーを観覧した来館者へ、より深い学びにつながる体験学習の場を提供し、科学を学ぶ楽しさを伝える。	2回/年	一般	パフォーマンス ステージ	200人	サイエンスショー後に、ステージで動きや反応を楽しむことができる体験学習を提供する。
R6	公2	受託	発展理科講座	理科の本当の楽しさを伝える、発展的な理科実験により、多世代の方が科学に親むることができる機会を提供する。 ※学習指導要領発展事業の一般向け	1回/年	一般	ワーク ショップ ルーム	12人	多くの年代の市民が参加できる理科実験を使ったワークショップを開催する。 (参加費300円)
R4	公2	受託	サイエンスセミナー	「科学を文化として楽しもうPJ」の一環として、科学のおもしろさや楽しさ、科学と社会のつながりを幅広い世代の方々に紹介する。	1回/年	一般	小ホール	150人	最新科学の第一人者を講師に迎え、科学に興味のある子どもから大人までの幅広い市民を対象にした講演会を開催する。 (参加費300円)
R4	公2	受託	レッツ・エンジョ イ・サイエンス	「科学を文化として楽しもうPJ」の一環として、科学のおもしろさや楽しさ、科学と社会のつながりを幅広い世代の方々に紹介する。	1回/年	一般	多目的 ホール	100人	地元企業の科学技術やタイムリーな科学テーマに関する技術者を指導講師に迎え、子どもから大人まで楽しめるワークショップを開催する。 (参加費300円) (25組50人×2回)
R3	公2	受託	学習指導要領発展事業	学習指導要領の理解度を高め、学校の授業が楽しくなるための「わかる面白さ」を紹介する。	1回/年	小4～ 6年生	ワーク ショップ ルーム	12人	各学年の理科の学習指導要領の「自ら考える力」が身についたワークショップを学年単位で開催する。(12人×1回)
H30	公2	受託	展示整備事業	ものづくりサポートセンターと連携し、展示品を製作することで、サイエンスホールの展示の充実を図る。	通年	委員	体験館	-	定期的に整備委員会を開催し、展示品の製作検討、既存の展示物の点検・修理を行う。

令和8年度 事業計画（案） （科学体験館）

施設名等：科学体験館

開始 年度	公益目 的事業 区分	予算 区分	事業名	目的	期日	対 象	会 場	人 数	内 容
		自主 共催 受託							
H17	公2	受託	サイエンスショー	身近な事象をダイナミックな実験で紹介し、広く子どもから大人までを対象に、科学の楽しさを紹介する。	通年	子ども 一般	パフォー マンス ス テ ー ジ	20,000人	一般・団体向けに科学の原理を実験によって紹介する実験ショーを実施する。
H17	公2	受託	スペシャル サイエンスショー	全国的に活躍し、演じ能力の高い講師を招き、科学の楽しさを紹介する。	2回/年	子ども 一般	パフォー マンス ス テ ー ジ	280人	GW期間等の学校休業日に年2組の講師を迎え、魅力的な実験ショーを開催する（70人×2回公演×2日）
H17	公2	受託	ワークショップ	1つのテーマについて時間をかけて取り組むことで、科学やものづくり、サイエンスリテラシー（科学活用力）やものづくりリテラシーを高める。	通年 10回	小・中 学生、 親子	ワー ク ショ ッ プ ル ー ム	200人	主に小・中学生向けに科学や天文・ものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を開催する。（20人×10回）
H18	公2	受託	サイエンスクラブ 【初級】	小学校中学年に合った題材を用意し、科学やものづくりに対し興味、関心を高める。	5回/年	小3～ 4年生	ワー ク ショ ッ プ ル ー ム	120人	小学3・4年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作の講座を行う。（24人×5回）
H26	公2	受託	サイエンスクラブ 【中級】	初級での学習内容を踏まえた上で、小学校高学年に合った題材を用意し、科学やものづくりに対し興味、関心を高める。	5回/年	小5～ 6年生	ワー ク ショ ッ プ ル ー ム	120人	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を行う。（24人×5回）
H18	公2	受託	サイエンススクール	市内の中学・高校の科学部等の活動支援と成果発表の場を提供し、サイエンスリテラシーの向上を図る。	通年	中・高 校生	体 験 館	200人	中学・高校の科学部等に呼びかけ、サイエンスショーに取り組む。 発表会は、豊田市科学技術振興会と共催し「サイエンスカーニバル」として開催する。 （学習会1回×40人、体験館での発表（6校×10人＋見学者100人）

令和7年度モニタリング事業評価（前期分）について

令和7年度 モニタリング事業評価（前期分）

（目 次）

1 青少年センター

- 種まき事業

ミライのためのマネー講座知って得するお金のはなし…… P
(野畑委員)

- 若者によるまちづくり提案事業 WAKATTE…… P
(白川委員、稗田委員)

- 学生によるまちづくり提案事業…… P
(白川委員、稗田委員)

2 総合野外センター

- キャンプスタッフ・トレーニングキャンプ…… P
(斉藤委員、野畑委員)

- 親子自然体験塾①…… P
(稗田委員)

3 産業文化センター

- …いろいろプラスネタリウム①

「星と音楽がめぐり逢うとき」…… P
(宇井委員)

- 発見科学コーナー①

「さわってみよう！世界中からやってきた特別な石展」…… P
(西本委員)

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	種まき事業「ミライのためのマネー講座知って得 するお金のはなし」		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年6月15日（日）午後1時30分～午後3時30分			
開催会場	青少年センター他			
対象	高校生～25歳		定員	20人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	合 計 163,000 円
	市費負担分	123,000 円	事業実施委託費	
	参加者負担分	40,000 円	消耗品費、保険料	
	財団負担分	円		
	そ の 他	円		
事業のねらい (目的)	まずは気軽に参加できる内容にすることで、青少年センターを知ってもらい、利用者の新規拡大を目指す。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金に関する疑問や不安を解消し、将来のために知っておきたい具体的な金融知識を学ぶ。 ・ ライフプランを考えるきっかけとする。 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報とよた5月号 ・ 財団各施設チラシ配布 ・ 市内高校と県内大学にチラシ配布 ・ SNSによるPR 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者同士が交流できているか ・ 青少年センターに引き続き興味を持ってもらえるようになっているか 			
特記事項				

事務局欄	
------	--

令和7年度 種まき事業 ミライのためのマネー講座「知って得するお金の話」

日 時：令和7年6月15日（日）

対 象：豊田市在住・在勤の中学生を除く15歳から25歳（学生は市内外問わず）

定 員：20名

会 場：豊田市青少年センター会議室 A

参加者：26名

講 師：石原敬子氏（ファイナンシャル・プランニング・コーチ）

内 容：ファイナンシャルプランナーから金融知識を学ぶ。

《参加者の声》

- ・将来に欠かせないお金の知識について学べてよかった。投資について興味があるので、今回のお話を参考に自分でも調べてみたい。
- ・学校の教科書では学べない生きた勉強を受けさせていただいた。
- ・先生のお話を聞いて、自分のこれからの人生について考えることができた。
- ・難しい話があったらどうしようと不安でしたが、初めから終わりまで解りやすく楽しかった。
- ・講師の温かみのある人柄が全体の雰囲気をよくしていて、積極的に参加することができた。

《担当者所感》

定員は20名であったが、講師に承諾を得て26名受け入れた。今回のような形態の講座であれば、集客の面で不安ではあるが、定員を増やして行くことも可能だと思う。グループに分かれてスマホを使っての投資体験やワークなどを取り入れたことで、参加者も飽きずに最後まで集中して受講することができた様子だった。対象を高校生から25歳までとしたため、同世代を対象とした内容に絞ることができた。事前に質問などを集約し内容に反映させるなどの工夫をすれば、より個々の疑問や課題に応じた講座になったと思う。



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	若者によるまちづくり提案事業 WAKATTE		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年6月7日（土）～令和8年3月8日（日）			
開催会場	青少年センター他			
対象	豊田市で活動している18歳～35歳		定員	- 人
予算 (事業全体)	内 訳	金額	主な用途	合 計 790,000 円
	市費負担分	790,000 円	事業実施委託費	
	参加者負担分	円		
	財団負担分	円		
	その他	円		
事業のねらい (目的)	若者が自らの強みや意欲を生かした社会参加企画を提案し、多様で多世代の人と関わりながら実現することによって、思考力や判断力等の生き抜く力を育み、地域社会の担い手として成長すること。			
事業の内容	まちと関わる社会参加企画の提案を若者団体から募集し、審査を行った上で、採択された団体が企画の実現を図る。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報とよた4月号 ・ 財団各施設チラシ配布 ・ 市内中心に県内大学のまちづくり関係学部やゼミにチラシ配布 ・ 市内の青年団体（社会人の団体）へチラシ配布 ・ SNSによるPR 			
重点視察項目	採択された若者団体が自らの強みや意欲を生かした社会参加企画を提案できているか。			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次審査（プレゼン）をモニタリングしていただきたい。 ・ 2次審査は6月29日（日）午後1時～午後5時で、1次審査（6月7日実施）通過者のみプレゼンを実施する。 ・ 企画の開催日時、会場、対象、定員については、2次審査終了、委託契約締結後、確定する。 			

事務局欄	
------	--

令和7年度 若者によるまちづくり提案事業『WAKATTE』 2次審査

日 時 令和7年6月29日（日） 午後1時～午後5時
対 象 市内で活動している 18～35歳
会 場 豊田市青少年センター 交流室
参加団体 4団体（1次審査7団体）
内 容 2次審査

《審査員の意見》

- ・将来の自走化を見据えたものとなっており非常に効果的な使い方（補助金）であると感じました。また、ママや子どもだけでなくシニア世代の方々への影響も考えられていることも非常に良い点であると思いました。
- ・提案については、豊田市の現状の特性を分析し、これまでの実績やこれまでの活動の中での課題に対する対応を踏まえたうえで計画されているなど、企画の実現性が非常に高い内容でした。

《担当者所感》

今年度の採択は2団体となった。昨年度から1位で採択された団体の予算に余裕がある場合は、複数団体採択もありとした。多くの若者団体を支援できることは、事業目的からも意味があり継続して行っていきたい。

プレゼンを聞くと、4団体とも団体独自の視点で豊田を盛り上げる提案をしてくれていた。特に採択された団体は、現状の課題を解決するために動かれている素晴らしい企画だと感じた。



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	学生によるまちづくり提案事業		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年7月5日（土）～ 令和8年3月15日（日）			
開催会場	青少年センターほか			
対象	高校生以上の学生	選考	約30人	
予算 (事業全体)	内訳	金額	主な用途	
	市費負担分	1,307,000円	・コーディネート業務委託料 ・学生提案実施委託料	
	参加者負担分	円		
	財団負担分	円		
	その他	円		
			合計	1,307,000円
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の好きなことや得意なこと、まちづくりをつなげ、事業を通して学生につくり出すことの楽しさを体感してもらう。 ・企画の実現に向けて、他の学生や地域の人と協働することで、学生の自己成長や社会参画につなげる。 			
事業の内容	・まちの賑わいづくり、豊田市のPRに繋がる企画の実施。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・広報とよた5月号掲載 ・財団施設へのチラシ配布 ・市内外の高校と大学、及びゼミへチラシ配布 ・ホームページやSNSでの広報 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が主体となって企画が考えられているか ・参加者同士、協力して取り組んでいるか 			
特記事項	・研修2回目の企画案ブラッシュアップ研修（7月19日（土）午前10時～午後3時、交流室）をモニタリングしていただきたい。			

事務局欄	
------	--

令和7年度 学生によるまちづくり提案事業 企画研修

日時 令和7年7月19日(土) 午前10時～午後3時

対象 高校生以上の学生で構成するグループまたは個人

会場 豊田市青少年センター 交流室

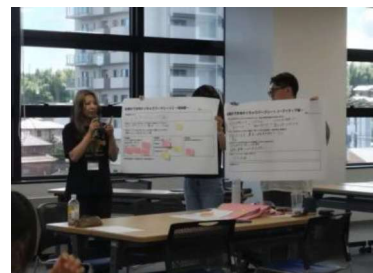
参加者 44人(8グループ)

内容 企画案のブラッシュアップ
《企画案》

大学名	学部	人数	目的	内容
中京大学(3年)	スポーツ	1人	稲武地区の盛り上げ	子ども向けスポーツ・学習教室 商工会主催「稲武×WRC ラリー事前イベント」協力等
	現社	1人		
愛知大学(1年)	経済	1人		
愛教付属高校(2年)	普通	3人		
猿投農林高校(2年)	農業	7人	地域の人に草花を知ってもらい、育て方に興味をもってもらおう	出荷の流れを学べるカードゲームの作成・改良、体験会の実施
中京大学(3年)	スポーツ	3人	豊田市の健康づくり	中京大学「子どもスポーツフェスタ」でウォーキングイベント実施
愛知工業大学(3年)	経済	6人	小原の盛り上げ	子ども向け「ミニ行燈づくり体験」実施、小原軽トラあんどんパレード作品展示
名城大学 (1年～4年)	理工 都市 人間	1人 1人 3人	山間地域の持ち上げ 理科教育の推進	古民家「くうねるあそび」で子ども向けの理科ワークショップ
愛知淑徳大学(1年～2年)	交流 ビジネス	5人 1人	豊田市ジビエを市内外に広める	マルシェ等で豊田のジビエを使った小物づくり体験を実施
愛知淑徳大学(1年)	ビジネス	3人	脱炭素社会の実現 (とよた未来 book より)	脱炭素にちなんだクイズや工作のワークショップ実施
豊田東高校(1年)		1人		
愛知淑徳大学(1年)	健康	1人	豊田地区のボーイスカウトの活動を広める	ピザ窯を製作し、地域の人を巻き込んだピザづくりイベントを開催する
豊田高専(4年)	環境	1人		
HAL名古屋(1年)	ゲーム	1人		
名古屋学芸大(1年)	栄養	1人		

《担当者所感》

今回は2回目の企画研修で、1回目に考えたアイデアを実現可能なところまで落とし込むことで、具体的な行動が見えてきた。また、他チームとの交流でそれぞれの強みが共有でき、企画を助け合う姿が見られた。本事業は、企画の過程で様々な人と関わることを大切にしているため、その第一歩となったと感じた。



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	キャンプスタッフ・トレーニングキャンプ②		施設名	総合野外センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年7月12日（土）10：00 ～ 13日（日）15：00			
開催会場	豊田市総合野外センター			
対象	大学生		定員	40人
予算 （事業全体）	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	10,000円	全体活動用品	
	参加者負担分	100,000円	食事代、シーツ代、教材費、通信費、保険代	
	財団負担分	円		
	その他	円		
合 計 110,000円				
事業のねらい （目的）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプスタッフに必要な知識や技能及び指導方法のノウハウを獲得する。 ・活動に対する意欲の向上を図る。 ・キャンプスタッフ間の連携を深める。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体の活動内容で、指導の必要のあるものの研修を中心に実施する。5回に分けて、野外炊事・かまどの使い方・火おこし器・炭火おこし・アスレチック・オリエンテーリング・キャンプファイヤー（井桁組・ファイヤーキーパー・エールマスター・ゲームリーダー）・クラフト工作・五平もち作り・もちつき等の研修を実施。最終回では、次年度の事業プランの提案を行う。 ・トレキャン②では、学校キャンプのテント泊の指導（上記網掛け）を中心に実施する。 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・現役スタッフからの紹介 ・知人からの紹介 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に対する配慮は十分か。服装や態度は適切か。 ・意欲的に参加できているか。スタッフ同士の交流・連携はできているか。 ・子どもに分かりやすい話し方で説明しているか。 ・本人が楽しそうに活動しているか。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングキャンプ① 5月10日(土)～11日(日)予定 ・トレーニングキャンプ③ 9月7日(日)予定 ・トレーニングキャンプ④ 10月5日(日)予定 ・トレーニングキャンプ⑤ 1月10日(土)～11日(日)予定 			

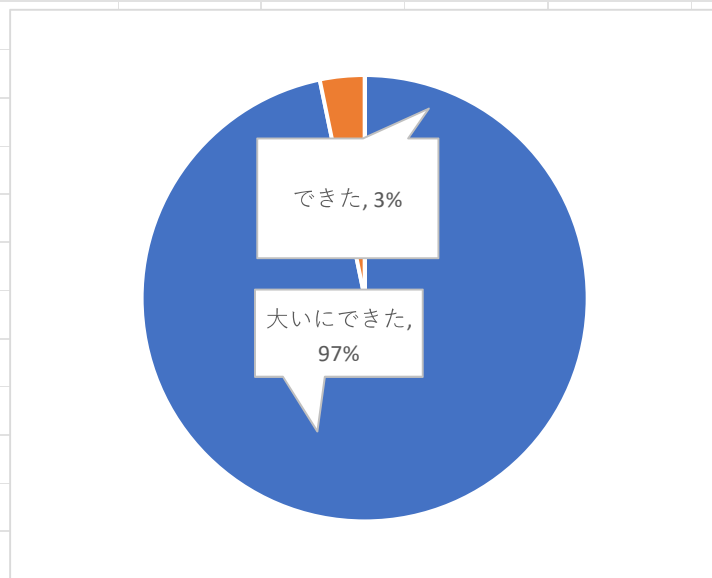
事務局欄	
------	--

キャンプスタッフトレーニングキャンプ② アンケート集計結果

回答数 31件

1.本事業は、キャンプの定番を学ぶこと、キャンプスタッフとは？を考えること、そして仲間との協力ができるようにすることを目的として計画しました。

1) キャンプのプログラムを楽しむことができましたか？

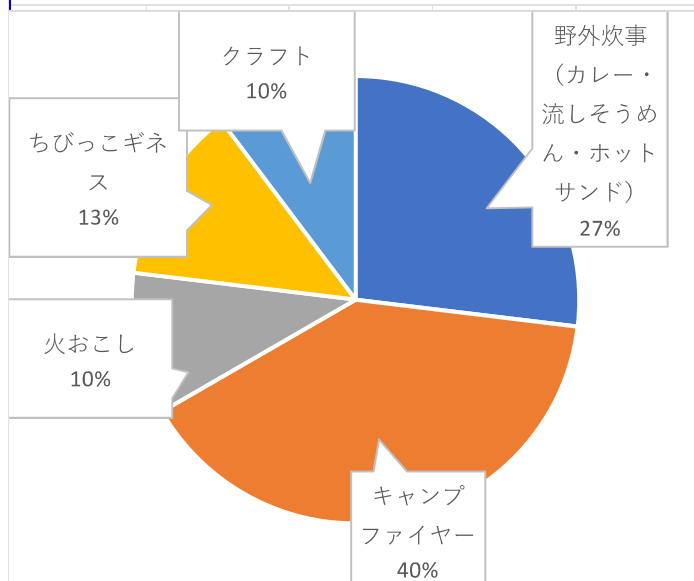


大いにできた	30
できた	1
あまりできなかった	0
できなかった	0

2) 1)の理由を教えてください。

- ・班で企画を作ったり、事業で行う内容が多かったことが楽しかった。
- ・班で協力してキャンプファイヤーのスタンプを作り上げたことができたから。
- ・新たな学びがあったから。
- ・盛り上がる場所とそうではない場所のメリハリをつけて取り組むことができたから。
- ・例年のメンバーとは異なるメンバーだからこそ今回のトレキャン②を作り出すことができた。
- ・実際の利用や事業を想定したプログラムであったから。
- ・キャンプファイヤーの準備や本番を通してチーム内外でたくさんの仲間と関わることができた。
- ・キャンプファイヤーのスタンプを通して班で一つの物を作り上げる楽しさと一体感を感じた。
- ・初めてテント泊をすることができてとても充実していた。
- ・子どもたちが行う活動を実際に体験することで新たな発見があった。
- ・日常では経験できないような活動ばかりで刺激があった。
- ・テーマであった「わ」を体現できた2日間であったと感じているから。
- ・事前にスタンプを考えてくることで班の仲が深まりやすかった。
- ・キャンプファイヤーの時の職員の出し物が面白かった。
- ・班での活動の中で、係を決めたり声掛けを心掛けを意識することができた。
- ・スタッフ一人一人が笑顔で楽しそうに活動していたから。

3) 今回の活動の中で、心に残ったことはなんですか？（複数回答可）

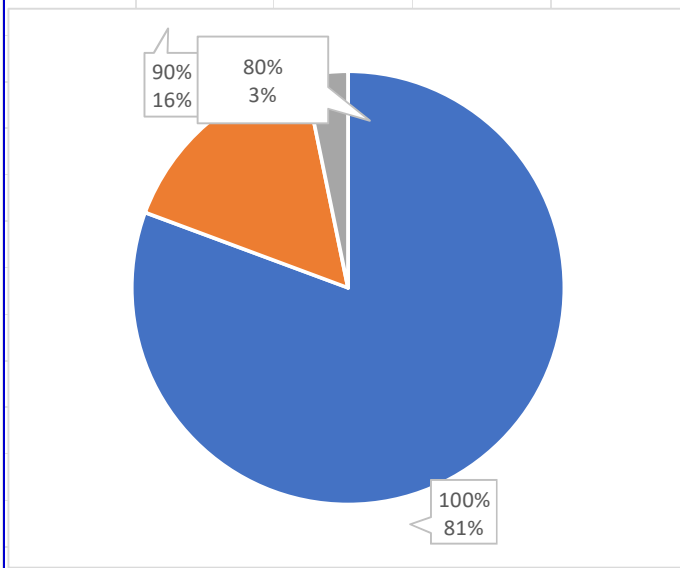


野外炊事 (カレー・流しそうめん・ホットサンド)	21
キャンプファイヤー	31
火おこし	8
ちびっこギネス	10
クラフト	8

2. 今回の講習で特に参考になったことはありましたか？

- ・ 班の集いをこども目線になって考えることはとても面白く、大切だと感じた。
- ・ 雨天時のプログラムや、やったことがないプログラムを体験できた。
- ・ キャンプファイヤーの流れや、各班のゲームが参考になった。
- ・ ちびっこギネスをはじめ、年齢に関係なく楽しめるゲームがあった。
- ・ プログラムの指導方法を復習すると同時に、他のスタッフが指導する様子を見ることができた。
- ・ メリハリの大切さと、それをこどもたちにどう促していくかを学ぶことができた。
- ・ クラフトでなぜ木を焼くのか初めて知った。
- ・ プログラム内に存在する危険性を周知することが大切だと思った。
- ・ キャンプファイヤーが自分をさらけ出せる場所だと学んだ。
- ・ キャンプファイヤーについて、それぞれの出し物やその盛り上げ方から新たな学びがあった。
- ・ 流しそうめんについて、実際に団体につく前にやり方を知ることができてよかった。
- ・ スタッフ同士のコミュニケーションの取り方が参考になった。
- ・ キャンプファイヤーの出し物によっては子どもの得意不得意があると思った。
- ・ 周りを見て自分ができることを探し、働きかける先輩たちの姿。

3. 今回の事業の満足度を教えてください。



100%	25
90%	5
80%	1

⑥次回トレキャンの中で取り入れてほしい研修

- ・夏だからこそできること
- ・山登り
- ・ナイトハイキング
- ・魚つかみ
- ・天体観測
- ・かき氷を作って食べたい
- ・野外炊事
- ・非常食を使った食事
- ・生物観察
- ・焼き芋
- ・各アスレチックで実際に半行動をして説明をする研修
- ・野外探索
- ・いつもはやらない野外炊事
- ・魚つかみ
- ・肝試し
- ・ピザ作り
- ・ダッチオーブン
- ・センター内の植物などをガイドできるようになるような研修
- ・スタッフ同士で雑談をする時間
- ・スキレット
- ・球技大会
- ・ちびっこギネスのような運動会

5) 全体で意見・要望・改善点など感じたことを記入してください。

- ・全体的に時間に余裕のあるプログラムでやりやすかった。
- ・先輩に自分たちがプログラムの説明する様子を見てもらえる機会がある点がよいと思った。
- ・初めてテント泊をしたが、キャンプ感を感じることができてよかった。
- ・前回と異なる班のメンバーと過ごすことができて楽しかった。
- ・キャンプファイヤーを通してスタッフ同士の距離が近くなったように感じる。
- ・自分の持っている知識を下級生に示すことができたと思う。
- ・夜食があると嬉しい。
- ・今回学んだことをこれからのプログラムの運営や説明の際に役立てたい。
- ・テーマである「わ」を大切にすることができた。
- ・各班でファイヤーのスタンプを考え、発表することでかわりを深めることができた。
- ・キャンプファイヤーや流しそうめんなど季節に合わせたプログラムがあってよかった。
- ・普段の活動で関わらないスタッフと関わることができてよかった。
- ・事前に配布されたしおりに着替えを多めに持ってくるよう書いてほしかった。
- ・前回に引き続き今回もとても楽しかった。
- ・朝ごはんが多かったので、もう少し少なくてもよかった。
- ・流しそうめんや流す麺の種類を増やすとよいと思った（そばとか）。
- ・キャンプファイヤーで自分の殻を破れたと思う。これからも殻を破っていきたい。
- ・周りを見ることを意識しながら活動に取り組めたと思う。
- ・職員とコミュニケーションをとりながら周りに呼びかけをすることができた。
- ・レク部以外の立場で意見を言うと、1日目の夕方ごろまでは受け入れていない感があるので、アイスブレイクがあると班の交流が深まった状態でスタートできると感じた。
- ・今回感じた「仲間を受け入れる空気感」をこれからの活動でも大切にしたい。
- ・キャンプファイヤーのスタンプ発表はここでしか体験できないことだったので、またやりたい。
- ・子ども達とのかかわりの中でも目標やテーマを明確にし、子ども同士のつながりを意識したい。
- ・水分補給ジャグがあってありがたかったです。
- ・
- ・

--	--	--	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	親子自然体験塾①		施設名	総合野外センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年7月5日（土）10：00 ～ 6日（日）15：00			
開催会場	豊田市総合野外センター			
対象	市内在住の小中学生を含む家族		定員	9 家族
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	25,000 円	全体活動用品	
	参加者負担分	81,000 円	食事、シーツ代、教材費、通信費、 保険代	
	財団負担分	円		
	そ の 他	円		
			合 計	106,000 円
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外センターの自然に親しみ、食事や会話など楽しい時間を過ごしたり、課題や作業に取り組むことで家族の絆を深める。 ・ 家族間の交流を図り、子どもが様々な世代の人とふれあう機会を提供する。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族で里山や自然がテーマの体験プログラムにチャレンジする。初夏の自然観察(動植物)をしたり、草木染めを体験する。 ・ R7.3月に完成したC炊事棟のピザ窯でピザ焼き体験をする。 ・ 自然の家の宿泊室を利用して、家族単位で宿泊する。 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ ・ 広報とよた ・ 電子チラシ(小中学校) ・ 事業参加者へのチラシ配布 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子の共同作業や参加者間の交流の場面が創出できているか。 ・ 自然観察や草木染めなど、自然を楽しむプログラムとなっているか。 ・ 家族の活動を尊重するなど、スタッフの対応は適切か。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間2回、自然のテーマを変え単独事業として開催。 ・ 親子自然体験塾② 12月20日（土）～21日（日）予定 			

事務局欄	
------	--

活動報告

豊田市総合野外センター 親子自然体験塾①

「自然の色であそぼう～草木染め・ナイトハイキング・ピザ窯体験～」

開催日 令和7年7月5日(土)14:00～6日(日)14:00まで

会場 豊田市総合野外センター

参加者 市内在学の小中学生を含む親子 9家族(33人)

内容 草木染め、ナイトハイキング、ピザ窯体験

【草木染め体験】

野外センターにある、サクラとカエデを使ってハンカチを染めました。

ビー玉や輪ゴムを使って模様を作っていきます。

植物は2種類でしたが完成した作品はそれぞれ色や模様が異なり、一つひとつに魅力があります。



【ナイトハイキング】

提灯の明かりを頼りに1組ずつ、家族ごとに出発して場内を歩きました。

途中で2か所「五感クイズコーナー」を設けて「においクイズ」と「音クイズ」を実施しました。

「においクイズ」では野外センターにある植物のにおい、「音クイズ」では野外センターにいる動物や自然に関する音を当てるクイズをしました。

【ピザ窯体験】

小麦粉を捏ねて生地からマルゲリータピザを作りました。

15分程捏ね続ける必要があるので家族で協力して捏ねる姿が印象的でした。

ピザ窯は400度を超える高温のため、わずか1～2分程で1枚のピザが焼けます。

参加者からは「生地がモチっとしておいしい」や「チーズがトロトロでよく伸びる」という声を聞くことができました。



親子自然体験塾① アンケート集計結果

回答数：9家族

令和7年7月5日(土)～6日(日)開催

1. 今回の親子自然体験塾はいかがでしたか？ 平均満足度 99.00%

2. 豊田市総合野外センターのイベントの参加は何回目ですか？（お子様のみ参加のイベントも含む）

はじめて	3
2回目	2
3回目	2
4回目	0
5回以上	2

3. 今回の親子自然体験塾を何でお知りになりましたか？（複数回答可）

ホームページ	3
学校からのメール	0
知人からの情報	0
チラシ	1
広報とよた	3
SNS(Facebook)	0
SNS(Instagram)	2
SNS(X)	0
その他	0

4. 今回参加しようと思った動機は何ですか？（複数回答可）

家族での思い出作り	6
家族で自然体験をしたい	8
六所山で宿泊したい	4
参加費が安い	4
野外センターの行事だから	3
その他	4

【その他】

- ・子どもが熱望したから。
- ・ピザを作りたいから。
- ・小5のキャンプに行く前に体験しておきたい。
- ・六所山が好きだから。

5.体験してみて良かったプログラムは何ですか？（複数回答可）

草木染め	8
ナイトハイキング	8
ピザ窯体験	8

6.今回の事業の中で会話は弾みましたか？（どのような会話ができましたか？）

- ・ さわがに、鳥、カミキリムシなど普段見られない生き物についてたくさん話げできた
- ・ ナイトハイキングでのクイズや、ピザ作りの作業工程で子どもと一緒に一生懸命夢中になれた
- ・ 「次はどうなるのかな」と予測不可能なことについて子どもとたくさん話せた
- ・ 動物のことや、ピザのことを話せた
- ・ 鹿の声がおもしろいね
- ・ ホタルが光っているね
- ・ ピザがおいしいね
- ・ 草木染めはピンクにならなかつたけど、綺麗だね
- ・ ピザ窯で焼くとおいしいね
- ・ 夜のハイキングでは「怖いけど面白い」と感じた道が、朝見たら普通の道だった
- ・ ハイキング楽しかったね
- ・ 草木染めの色出しについてたくさん話した
- ・ ピザが上手に焼けて良かったね

7.2日間を六所山で過ごした感想を教えてください、

- ・ 自然と触れ合い、家族と過ごせて良かった。
- ・ 夜に六所山で過ごしたのは初めてだったが、ナイトハイキング中にホタルなどの自然の中で暮らす生き物に遭遇でき良い思い出になった。
- ・ お兄さんやお姉さんが子ども達に積極的に接してくれ、"照れ屋のお兄ちゃん"も"お兄さんお姉さん大好きな妹"もとてもニコニコで2日間を過ごせていて、楽しめた。
- ・ 部屋も過ごしやすいくて子どもたちもたくさん色々な体験ができてとても楽しかった。
- ・ もう1回行きたい。
- ・ ナイトハイキングでの「音当てクイズ」で出てきた「鹿の鳴き声」がすごかった。
- ・ ピザづくりが大変だったけど楽しかった。
- ・ 色々な体験ができ、他の子どもたちとも遊び、普段行くキャンプとはまた違って良かった。
- ・ 親子で早く就寝することがなかったので健康的で良かった。
- ・ 特にピザを作ったり、片付けたりは子どもがたくさん手伝うことができ楽しそうだった。
- ・ 自然を見て、自然を大切にしようと思った。
- ・ 普段の日常では見られない虫やカニを見て触るなど、子どもがとても成長したように感じた。
- ・ 草木染めやピザ窯体験ができて楽しかった。
- ・ ピザを作っているとき、ピザ職人になった気分だった。

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	いろいろプラネタリウム① 「星と音楽がめぐり逢うとき」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催 (共催：豊田市) <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年 5月18日 (日) 昼の部 14:30~15:30 夜の部 17:30~18:30			
開催会場	とよた科学体験館プラネタリウム			
対象	小学生以上 (未就学児不可)		定員	各回 120 人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	310,000 円	演奏者謝礼 (231,000 円) 音響操作手数料 (60,000 円) 等	
	参加者負担分	120,000 円	チケット 500 円×120 人×2 回 ※全額市へ納入	
	財団負担分	円		
	そ の 他	円		
			合 計	310,000 円
事業のねらい (目的)	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別投映を開催する。			
事業の内容	豊田市ジュニアオーケストラ卒団生 (令和6年度豊田文化新人賞受賞者含む) による弦楽カルテットの生演奏と星空のコラボレーション ※星空解説あり			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシ (財団各施設・館内配布) ・当館のHP、LINE@登録者 ・広報とよた 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏とプラネタリウム (星空の話題) の調和がとれているか ・プラネタリウムの特徴を活かした演出がされているか ・スムーズな進行内容であったか 			
特記事項				

事務局欄	
------	--

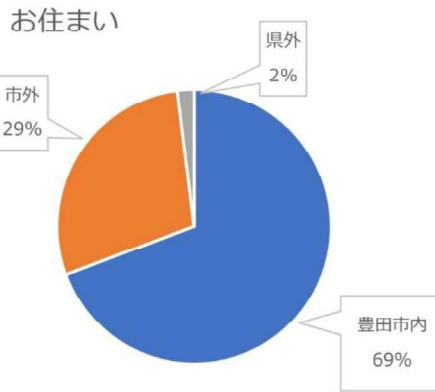
2025年5月18日(日) いろプラ①星と音楽がめぐり逢うとき (昼の部・夜の部/合計) アンケート結果

参加人数	昼の部：参加人数134人/回答人数101人	回答率80.2%
回答人数	夜の部：参加人数144人/回答人数122人	

どちらからお越しですか？

豊田市内	70
市外	29
県外	2

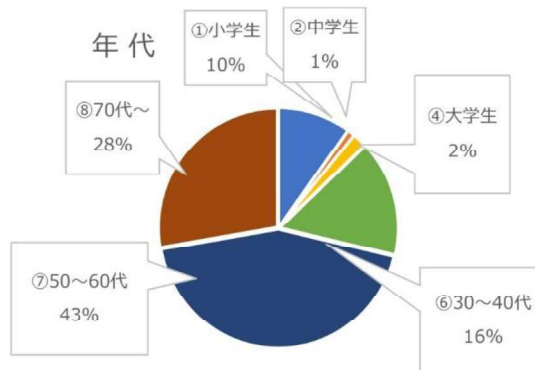
名古屋(8)日進(6)岡崎(4)瀬戸(3)長久手(3)
みよし(2)高浜(1)知立(1)東郷(1)岐阜(2)



年代を教えてください。

①小学生	10
②中学生	1
③高校生	0
④大学生	2
⑤10~20代	0
⑥30~40代	16
⑦50~60代	44
⑧70代~	28

101

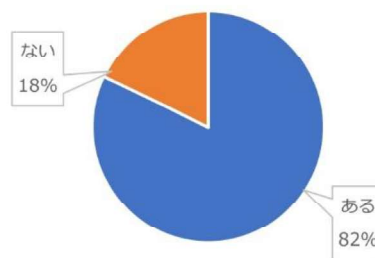


1. これまで当館のプラネタリウムに来たことはありますか？

ある	83
ない	18
無回答	0

101

当館利用の有無

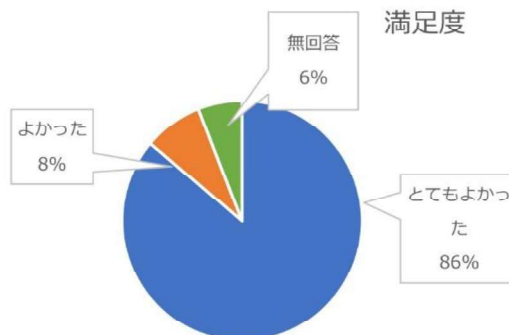


2. 今回の事業はいかがでしたか？

とてもよかった	87
よかった	8
ふつう	0
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	6

101

満足度



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	発見科学 コーナー①「さわってみよう！世界中からやってきた特別な石展」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年5月24日（土）10：00～10：50 および 13：30～14：20			
開催会場	とよた科学体験館 パフォーマンスステージ			
対象	どなたでも		定員	※特になし 人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	合 計 15,000 円
	市費負担分	15,000 円	道具等消耗品	
	参加者負担分	0 円		
	財団負担分	0 円		
	そ の 他	0 円		
事業のねらい (目的)	<p>来館者へ、常設の展示より質の高い、科学体験を提供する。</p> <p>科学館ならではの機材を使うほか、職員による専門的な解説を行うことで、科学館としての魅力を発信する。</p>			
事業の内容	<p>すべての展示物に触ることができることをテーマに、世界各地の石の展示を行う。鉱石、石材、溶岩、化石、砂などを準備予定。日本の石も展示する。</p> <p>ほかの体験として、石を叩いて音を聞く、砂鉄を集める、軽石を水に浮かべるなどを予定。</p>			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシ（財団各施設・館内配布） ・当館のHP、LINE@登録者 ・広報とよた 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持たせた体験学習となっているか ・体験した参加者の様子 ・参加者とのスタッフ（職員）との対話 			
特記事項				

令和７年度モニタリング事業（後期分）について

令和7年度 モニタリング事業（後期分）

1 趣旨

主催事業をご視察いただき、客観的な立場からの評価やご意見ご助言により、今後の事業の企画や運営に役立てるために行います。

2 モニタリング事業

委員1人につき、年間2以上のモニタリングをお願いします。

次ページにある施設側が評価をいただきたい事業を中心としますが、一覧以外の事業（令和7年度事業計画書（第1回青少年育成委員会 資料議題2）を参照）も可とします。

事業の評価は、第3回の委員会時にご報告いただきます。

3 申込み・問合せ等

基本は委員会事務局の青少年センターとしますが、総合野外センターや産業文化センターの事業に関しては、日程調整や詳細等の問合せもあるので、直接やり取りいただいても構いません。

4 評価書の提出

基本は青少年センターとしますが、総合野外センターや産業文化センターでも構いません。

評価書の様式は担当者から、データまたは紙でお渡しします。

5 担当者と連絡先

●青少年センター（担当：近藤・松浦）

①電話／0565-32-6296

②Eメール／youth@city.toyota.aichi.jp

●総合野外センター（担当：山中・山村）

①電話／0565-58-1388

②Eメール／toyota-yagai-center@city.toyota.aichi.jp

●産業文化センター（担当：荘田・中根）

①電話／0565-33-1531

②Eメール／sanbun@city.toyota.aichi.jp

令和7年度モニタリング事業一覧（後期）

（R7.10.3現在）

番号	施設	事業名	開催日	ページ
1	青少年	若者応援事業 「とよた未来共創塾」	9月12日（金） ～12月5日（金）	P4
2	青少年	若者によるまちづくり提案事業 おやこ料理教室	11月1日（土）	P5
3	青少年	サークル・グループ文化祭	令和8年1月18日（日）	P6
4	野外	（新規）森と絵本	11月3日（月・祝）	P7
5	野外	六所でキャンプ③ ワールドキャンプ アジア ver.	12月6日（土） ～7日（日）	P8
6	野外	（新規）山の子学級	令和8年1月17日（土）～18日（日） 令和8年2月14日（土）～15日（日） 令和8年3月7日（土）～8日（日）	P9
7	産文	いろいろプラスネタリウム② 「上坂監督が語る月、火星、そしてその先へ」	11月9日（日）	P10
8	産文	ものづくりワークショップ（内部講師） 「繭ランタンを作って光らせよう！」	11月29日（日）	P11
9	産文	いろいろプラスネタリウム③ 「ほろよいプラネタリウム」	12月12日（金）	P12

モニタリング予定

委員名	一覧番号	上記以外の事業
宇井 委員		
大村 委員		
斉藤 委員		
白川 委員		
西本 委員		
野畑 委員		
稗田 委員		

モニタリング事業（候補施設）

委員	青少年C	野外C	産業文化C 科学体験館
宇井委員			○
大村委員	○	○	○
斉藤委員	○	○	
白川委員	○		
西本委員			○
野畑委員	○	○	
稗田委員	○	○	

※可能であれば、○印が付いている施設の事業について、モニタリングをお願いします。ただし、日程等、都合が悪い場合は、別の施設で構いません。

※2回以上モニタリングする場合は、特に指定はしませんので希望する施設（事業）のモニタリングをお願いします。

ただし、年4回まででお願いします。

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	若者応援事業「とよた未来共創塾」		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年9月12日（金）～ 令和7年12月5日（金）			
開催会場	青少年センター 交流室			
対象	高校生以上の学生（スタッフ・参加者 募集）	抽選	各13人	
予算 （事業全体）	内訳	金額	主な用途	
	市費負担分	11,000,00円	・コーディネート業務委託料	
	参加者負担分	円		
	財団負担分	円		
	その他	2,400,000円	・産業人材活躍課より	
合計 3,500,000円				
事業のねらい （目的）	学生と企業をつなぎ、キャリアについて考える機会を創出するとともに、職業選択の幅を広げる。			
事業の内容	講師による講演、企業・教員との対話			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・広報とよた8月号掲載 ・財団施設へのチラシ配布 ・市内外の高校と大学、及びゼミへチラシ配布 ・ホームページやSNSでの広報 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のキャリアについて考えるきっかけや、職業選択の幅を広げる内容となっているか ・学生と講師、企業、学校が対話を通してつながれているか 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント2～5回目のいずれか1日（10/24、11/6、11/21、12/5 17：00～20：00、交流室）をモニタリングしていただきたい。 ※イベント自体は18：00～開始ですが、スタッフとして参加する学生は17：00～開始です。 			

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	若者によるまちづくり提案事業 おやこ料理教室(主催:ママリトリートとよた)		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催 (共催:豊田市) <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年11月1日(土) 午前10時~午後0時30分			
開催会場	ジェンダー平等推進センター (豊田産業文化センター2階) 調理実習室			
対象	小学生以下の子どもと保護者		定員	12組
予算 (事業全体)	内訳	金額	主な用途	合計 415,000円
	市費負担分	415,000円	事業実施委託費	
	参加者負担分	円		
	財団負担分	円		
	その他	円		
事業のねらい (目的)	若者が自らの強みや意欲を生かした社会参加企画を提案し、多様で多世代の人と関わりながら実現することによって、思考力や判断力等の生き抜く力を育み、地域社会の担い手として成長すること。			
事業の内容	まちと関わる社会参加企画の提案を若者団体から募集し、審査を行った上で採択して実現する。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・財団各施設チラシ配布 ・ママリトリートとよた関係者 ・SNSによるPR 			
重点視察 項目	採択された若者団体が自らの強みや意欲を生かした社会参加企画を実現できているか			
特記事項	材料費 1,000円 お味噌汁とおにぎりづくり ※未就学児の託児あり 講師 磯部 美緒氏 (栄養士/ぽかひはうす運営)			

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	サークル・グループ文化祭		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市）	<input type="checkbox"/> 自主
開催日時	令和8年1月18日（日） 午前10時～午後4時			
開催会場	産業文化センター 小ホール、多目的ホール、ピロティ、産業交流コーナー、1階サロン他			
対象	青少年センター登録サークル・グループ、青少年育成団体、市内の高校・大学等		定員	一人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	合 計 840,000 円
	市費負担分	840,000 円	手数料、消耗品、 使用料等	
	参加者負担分	0 円		
	財団負担分	0 円		
	そ の 他	0 円		
事業の ねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターを利用する団体が協力し文化祭を行うことで、青少年の自主性を育て、社会参加や社会参画の一步につなげる ・サークル・グループの日頃の活動を広く市民へ PR するとともに、新規団体やメンバーの獲得につなげる ・学生や若者の活動拠点としての青少年センターを PR する 			
事業の 内 容	ステージパフォーマンス（バンド・ダンス）、ブース企画、スタンプラリー、展示 等			
事業の 広報・PR	広報とよた、財団施設へのチラシ配架、SNS による PR			
重点視察 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士が交流できているか ・新たな気づきや視点に触れる機会を与えられているか ・自己実現につながる機会を与えられているか 			
特記事項				

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	《新規》森と絵本		施設名	総合野外センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年11月3日（月・祝） 10:00 ～ 12:00			
開催会場	豊田市総合野外センター			
対象	幼児を含む家族		定員	10組
予算 （事業全体）	内訳	金額	主な用途	
	市費負担分	29,000円	講師謝礼、ケータリング等	
	参加者負担分	10,000円	教材費、衛生用品等	
	財団負担分	円		
	その他	円		
合 計 39,000円				
事業のねらい （目的）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で絵本の読み聞かせを行い、子どもの感性を育てる。 ・親子で絵本の楽しさを共有することで、親子のふれあいを深め安心できる居場所を作る。 ・子育て家庭同士の交流の場を提供する。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ほおのきホールで、手遊び、読み聞かせ、親子読書 ・場内散策（秋の自然探し） ・秋の工作（落ち葉などを使ったペーパークラフト） 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・市・財団ホームページ、とよたのコマド、野外センターSNS ・広報とよた ・チラシ・ポスター配布（財団施設、こども園、幼稚園、図書館等） 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢に相応な内容だったか。 ・親子のふれあいの場となっていたか。 ・家庭同士の交流があったか。 			
特記事項				

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	六所でキャンプ③ワールドキャンプ アジア ver.		施設名	総合野外センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年12月6日（土）10：00 ～ 7日（日）14：00			
開催会場	豊田市総合野外センター			
対象	市内在住の小学4年生～中学生3年生		定員	36人
予算 (事業全体)	内 訳	金額	主な用途	
	市費負担分	25,000円	全体活動用品	
	参加者負担分	126,000円	食事、シーツ代、教材費、通信費	
	財団負担分	円		
	その他	円		
			合計	151,000円
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ体験を通して、野外活動の楽しさや難しさに向き合いながら、自主性や協調性を育む。 ・違う学校、違う学年の子同士の交流を図り、交友の輪を広げる。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日のキャンプを実施する。 ・外国の文化的な遊びを野外活動に取り入れる。 ・場内探検を行い、自然に親しみながら体を動かす。 ・外国の料理を作ることで食育について学ぶ。 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・市・財団ホームページ、きずなネット、野外センターSNS ・広報とよた ・電子チラシ(小中学校) ・事業参加者へのチラシ配布 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊キャンプの入り口事業として、企画内容は適切か。 ・子どもたちが自然と向き合い、楽しむことができているか。 ・子どもの安全に配慮した活動を行っているか。 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・六所でキャンプ①「こどもきずなキャンプ」 ・六所でキャンプ②「クエスト大量発生中！in 六所 ～めざせ六所のやりくり上手～」 			

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	《新規》山の子学級		施設名	総合野外センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和8年1月17日（土）10：00 ～ 18日（日）15：00 令和8年2月14日（土）10：00 ～ 15日（日）15：00 令和8年3月7日（土）10：00 ～ 8日（日）15：00 ※同じメンバー36人が3回参加する			
開催会場	豊田市総合野外センター			
対象	市内の小学4年生～中学3年生		定員	36人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	100,000円	全体活動用品	
	参加者負担分	360,000円	食事、シーツ代、教材費、通信費	
	財団負担分	円		
	その他	円		
合 計 460,000円				
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学年から中学生に向けて、レベルアップを狙った事業。 ・長期スパンを活かし、仲間との継続的な活動、自ら考える時間を創出する。 ・仲間や自然への愛着、野外活動の企画や運営などへの興味の芽生えを育む。 			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日のキャンプを実施する。現在、里山体験・山仕事体験・天体観察等の内容を検討中。 			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・市・財団ホームページ、きずなネット、野外センターSNS ・広報とよた ・電子チラシ(小中学校) ・事業参加者へのチラシ配布 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルアップ事業として内容は適正化か。 ・長期スパンを活かした仲間づくりや自らの成長を促すようなプログラム・スケジュールだったか。 ・野外活動などへの興味が高まる内容だったか。 			
特記事項				

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	いろいろプラスナトリウム③ 「ほろよいプラネタリウム」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年12月12日（金）19：00～20：30			
開催会場	とよた科学体験館プラネタリウムおよび産業文化センター多目的ホール			
対象	20歳以上		定員	70人
予算 (事業全体)	内訳	金額	主な用途	
	市費負担分	149,000円	謝礼（110,000円） ホール使用料等（21,000円）他	
	参加者負担分	140,000円	受講料500円+飲食チケット1,500円 ×70人 ※受講料のみ市へ納入	
	財団負担分	円		
	その他	円		
			合計	149,000円
事業のねらい (目的)	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別投映を開催する。			
事業の内容	星とワインを話題にしたサイエンスカフェ形式の大人向けイベント。 今回は「皆既日食」をテーマに、天文研究家浅田英夫氏と天文カメラマン谷川正夫氏をお招きし、大人ならではの楽しみ方を語り合う。ウエルカムドリンク及びワンドリンク付き。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシ（財団各施設・館内配布） ・当館のHP、LINE@登録者 ・広報とよた 			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・皆既日食について理解し、魅力ある話題であったか ・新たな視点で、天文に興味・関心を持てる内容としているか。 ・プログラム全体の構成はよかったか 			
特記事項				

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	いろいろプラスナトリウム② 「上坂監督が語る月、火星、そしてその先へ」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)	
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催 (共催:豊田市) <input type="checkbox"/> 自主			
開催日時	令和7年11月9日(日) 16:00~17:30				
開催会場	とよた科学体験館プラネタリウム				
対象	一般向け		定員	120人	
予算 (事業全体)	内 訳	金額	主な用途		合 計 254,700 円
	市費負担分	254,700 円	謝礼 (180,000 円) PR チラシ制作等 (11,000 円) 他		
	参加者負担分	60,000 円	チケット 500 円×120 人 ※全額市へ納入		
	財団負担分	円			
	その他	円			
事業のねらい (目的)	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別投映を開催する。				
事業の内容	当館でも上映した上坂浩光監督作品「HAYABUSA」や「まだ見ぬ宇宙へ」等の番組制作を通して、上坂監督が昨今の宇宙開発に込めた思いを語るトークショー。また当日限定で、上坂監督2作品の特別上映も行う。				
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシ (財団各施設・館内配布) ・当館のHP、LINE@登録者 ・広報とよた 				
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・内容はタイムリーな話題であり、わかりやすいか ・聴講者の年齢層や知的好奇心との調和は取れているか ・プログラム全体の構成はよかったか 				
特記事項	上坂浩光氏:科学映像やCM、ゲーム等の映像など、さまざまな分野の映像制作を行ってきたが、『HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-』の制作をきっかけに、宇宙や生命をテーマにしたフルドーム映像作品を数多く発表し、日本のみならず海外でも数々の賞を受けている。また 2025 大阪・関西万博 JAXA ブースにて LED カーブビジョン映像「月に立つ。その先へ。」の制作を行った。				

事務局欄	
------	--

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	ものづくりワークショップ（内部講師） 「繭ランタンを作って光らせよう！」		施設名	豊田産業文化センター （とよた科学体験館）	
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主			
開催日時	令和7年11月29日（日）15：00～17：00				
開催会場	とよた科学体験館ワークショップルーム				
対象	小学3年生～中学3年生と保護者		定員	12組	
予算 （事業全体）	内訳	金額	主な用途		合計 24,000円
	市費負担分	24,000円	試作を含む材料費		
	参加者負担分	12,000円	参加費1,000円×12人 ※全額市へ納入		
	財団負担分	0円			
	その他	0円			
事業のねらい （目的）	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を開催する。蚕の繭を使ったランタンの製作を通して、ものづくりの楽しさを体験する機会を提供する。				
事業の内容	蚕の繭を使ってランタンを製作する。ワークショップ終了後、産業文化センターで点灯式を行う。（産業文化センター40周年記念事業）				
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・事業チラシ（財団各施設・館内配布） ・当館のHP、LINE@登録者 ・広報とよた 				
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持たせる内容になっているか ・体験した参加者の様子 ・参加者との講師との対話 				
特記事項					

事務局欄	
------	--